

2015年 日本個性化教育学会 春季研究会

昨年11月20日、文部科学大臣は中央教育審議会に学習指導要領の改訂について諮問を行いました。そこでは、資質・能力（コンピテンシー）育成を基盤とした学力論・教育課程編成の模索、アクティブ・ラーニング（課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ）など教育方法の改革・拡充が打ち出されています。これらは、単に教育課程政策の工夫や刷新のみで実現しうるものではなく、その実践化に際しては、なおいっそうの教師の力量向上、授業の質的改善が求められるでしょう。

子ども主体のオーセンティックで協働的な学びにより、知識基盤社会を生き抜くコンピテンシーの育成を目指すという動向は国際的なトレンドであり、すでに多くの先進国、発展途上国においても、同様の趣旨に基づき、さまざまな施策が試みられています。わけても、日本に端を発する授業研究（レッスン・スタディ）は、教師の力量向上と授業の質的改善、さらに学び続け成長し続ける教師集団の形成を強力に推進する営みとして世界的に注目を浴びています。

このような動向を踏まえ、今回の春季研では、ブレア政権において教育政策アドバイザーチームのメンバーとして学校改革に従事され、現在はロンドン市カムデン区教育委員会で「授業研究による授業改善」に取り組んでいる Pete Dudley 氏をお迎えし、やはり国際的な視野で授業研究の海外での展開に取り組んできた名古屋大学の久野先生と共に、今後の学力論と授業づくり、それを支えるレッスン・スタディとそれによる教師の力量形成、授業の質的改善の実際について考えたいと思います。

さらに午後は、次期学習指導要領を巡る動向について「教育課程企画特別部会」委員である奈須先生からの報告を受け、参加者全員で討議し、今後に備えたいと思います。

なお、今回は会場の都合（定員30名）から、事前の参加申し込みをいたします。

■テーマ 学力論の転換とレッスン・スタディによる授業改善

■期 日 2015年3月28日（土）

■場 所 上智大学 2号館14階 教育学科会議室

102-0094 東京都千代田区紀尾井町7-1（JR中央線、東京メトロ 四ツ谷駅前）

■時 程 9:50 開式
10:00 「レッスン・スタディを巡る国際的な動向と今後の可能性・課題」
Pete Dudley（ロンドン市カムデン区教育委員会）
久野弘幸（名古屋大学教育学部）
11:30 討論
12:30 昼食・休憩
13:30 「学習指導要領改訂を巡る動向に関する私見」
奈須正裕（上智大学総合人間科学部）
15:00 討論
16:00 閉式

■資料代 会員1000円 非会員2000円

■参加申し込みについて

参加者多数（定員30名）の場合には、上智大学内で会場を変更します。その関係から、今回は参加申し込みをお願いいたします。電子メールがベターです。

申し込み先 庶務部長
佐久間 茂和

eメール: sakuma.shigekazu@gmail.com

sakuma.s@s7.dion.ne.jp

住所: 〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷3-9-14-510

電話番号: 080-5429-1681